

## さぽうと21支援生の研究報告会・交流会にお越しく下さい

2017年度も、就学支援や学習支援室事業に温かいお力添えを賜り、深く御礼申し上げます。

2018年2月に、就学支援中の難民等の外国出身者が研究報告を行いますので、ぜひご来場ください。

国際情勢が緊張感を増し、国内でも難民問題への関心が高まる中、「難民」や「外国出身者」として日本に定住し、将来を切り拓こうとする学生の研究成果や今後の目標をお聞きいただければ幸いです。

### さぽうと21と出会えて ～発表予定者の声をご紹介します～



東京理科大学大学院 電気工学専攻  
あき やま つよし さん  
秋山 強志 さん

人もいたため、学校ではベトナムのルーツを持つことによる不都合は感じませんでした。しかし、日本の常識を学ぶにつれて、両親との間に軋轢が生じる機会が増えました。学校で学んだ日本の常識と、自宅で両親が語るベトナムの常識に度々隔たりがあったためです。

日本でも家庭によって教育方針が違いますが、当時の私は、ベトナムの家についての情報源が主にわが家しかない環境でしたので、「家庭の教育＝ベトナムの常識」と解釈してしまいました。小・中学生時代のベトナムをルーツに持つ友人達は、親に反抗して不良になる人ばかりだったので、相談をしても参考にはなりません。学校からの親宛ての手紙も、両親は内容を全く理解できないので、自分で管理するようになり、私と両親の考え方のずれを修正することにも疲れ、話題を出すのも憚ら

私のルーツはベトナムですが、日本で生まれ、日本で育ちました。国籍も小学生の時に日本国籍を取得しました。小学生・中学生時代は、ベトナムや中国など様々なルーツを持つ人が同学年に多くおり、私と近い環境の

れるようになり、会話も減ってしまいました。この時期の心情としては、ベトナムのルーツを持つことに対して抵抗は感じませんでした。日本の常識に歩み寄ろうとしないベトナム人の両親に嫌悪感を抱いていました。一方で、両親の愛情は感じていましたし、私の学業を含め日本の文化に対する無頓着さを除けば素晴らしい両親だと感じていました。

両親に対して複雑な気持ちを抱えていた時期に、さぽうと21に出会いました。大学1年生の時です。夏期研修会や交流会などによって自分のルーツに関連した悩みを持つ多くの人々と触れ合うことで、抱えていた嫌悪感が薄れていきました。さぽうと21は、しっかりと勉学に励み、自分が持つルーツとの折り合いをつけている人たちにめぐり合わせてくれました。頭では理解していても年々接し方がわからなくなる両親とどのように接するべきか、色々な触れ合いを通して自分自身を変えていくことができたのです。自分の中では、ベトナムのルーツを持つということ私の個性として割り切って生きてきました。そのため、日本の文化に対する両親の無頓着さも仕方ないと切り捨て、しっかりと物事を伝えられる年齢になっても行動を起こさずにいました。そんな悩みを取り除くことができたのは、さぽうと21に出会えたおかげです。その他にも、かけがえのない友人、先輩や後輩などにも出会う機会をいただきました。本当に感謝しています。

### さぽうと21支援生 研究報告会・交流会

日 時：2018年2月17日(土) 午後2時～5時

会 場：東洋熱工業株式会社 3F 大会議室  
(東京都中央区京橋2-5-12)

最寄り駅：東京メトロ銀座線 京橋駅出口4より1分  
都営浅草線 宝町駅出口 A5からすぐ

発表者：坪井一郎・仁子学生支援プログラム受給生 11名

入 場 料：無料(定員60名、事前にお申し込みください。  
報告会后、5時～6時まで交流会の予定です。)

お問合せ：さぽうと21事務局 (TEL: 03-5449-1331、  
E-mail: info@support21.or.jp)

# 外国にルーツをもつ学生の『働き方』発見セミナー

平成29年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

## 2017年度 さぽうと21 夏期研修会

難民などの「外国にルーツをもつ」学生の多くは、将来、日本社会で職を得て自立していく必要があります。

一口に「就職」と言っても、私たちの周りには、どんな会社（業界）、仕事（職種）があるのか。ま

た職業の選択肢を広げるためには、どんな「進路選択」をすればいいのか。まずは同じような背景をもつ仲間や、会社で働く社会人と話す中で考えることができるよう、2泊3日で以下のプログラムを実施しました。

❁ 日程：2017年8月20日（日）～ 22日（月）／ 宿泊：晴海グランドホテル（東京都中央区晴海3-8-1）

❁ 参加者：計60名（高校生20名、専門学校生2名、短大生1名、大学生20名、大学院生6名、関係者11名）

### 1日目

## 進路選択・就職に関するワークショップ



### 進路選択に関するワークショップ

高校生を対象に、学校ごとの特色（専門学校と大学の違い）や、進学にかかる費用（奨学金の種類と注意点）、卒業後の働き方を見据えた進学先の選び方などのお話を聞き、学生にとっては自身の進路について改めて考える機会となりました。

❁ 参加者：高校 6ヶ国19名

❁ 講師：高屋 江梨子 様（株式会社 進路情報ネットワーク）

- 同じ大学でも、学科によって違うんだと思った。合格してもお金を払えないと自分が困ってしまうことがあると知った。（ミャンマー）
- 大学に行くと行かないとで、将来の稼げるお金が全然違っていた。大学に行けばいいと思っていたが、“まず将来を決めるべきだ”と分かった。（ベトナム）



### 就職に関するワークショップ

「就活」のスケジュールや、業界の動向や特色、自己分析・業界研究の仕方、外国人学生の需要拡大などの情報を提供してもらいました。

❁ 参加者：短大・専門学校・大学・大学院 8ヶ国25名

❁ 講師：岡崎 仁美 様（株式会社リクルートキャリア 就職みらい研究所）

- 面接の時に、企業が重視している点と、就活生の重視している点が違って驚いた。（ペルー）
- 日系企業に対して、強い“年功序列”のイメージがあったが、新卒一括採用や求人倍数などを聞いて、プラスのイメージに変わった。（ブラジル）
- 学生である私たちにも「既にキャリアがある」ということは、自分を振り返り、未来につなげる上で重要だと思った。（ベトナム）

## オイシックスドット大地 株式会社

5カ国・11名の学生が訪問しました。インターネットを通じて、生産者が作る安心・安全な食材を食卓に届け、料理の楽しさ・美味しさを感じてもらうための事業を行っています。人事部の方から、会社や商品の紹介、ITサービスやWebマーケティングの仕組み、IT業界の今後などについても解説していただきました。

- 人のためになる仕事をしたいという思いがとても素敵だと思いました。私も人のために、社会のためになるように働きたいです。(ペルー / 大学生)
- 同じ業界であれば対立すると思いがちですが、手を組んで共同運営をする場合もあることに驚きました。(カンボジア / 大学生)



学生さんと話をするのが楽しく、あまりバックグラウンドとかは意識せずに実行しました。

小見

## 株式会社 エイチ・アイ・エス

旅行

6カ国・13名の学生が訪問しました。人事部の方々に、国内外の旅行業界の動向、商品の企画から販売までの流れをお話いただきました。仕事体験として、参加者がグループごとに「HISらしさ」のある学生旅行を企画し発表しました。また地球規模の課題に取り組むために、宇宙事業、ロボット、植物工場、自家発電などの分野にも参入されていることを伺いました。

- オンリーワンとナンバーワンを大切にしている会社。何でも1番になるということは、色んなことの動力になるという理由が素敵だと思いました。(ベトナム / 高校生)
- 旅行を提案するだけでなく、それまでに立案やプロモーションなど、色々なことがあり、すごく興味がわきました。(ブラジル / 大学生)



外国籍スタッフが働く職場を見学した時の皆さんの反応から、参加した学生さんたちの多様性を受け入れる感覚を日本人以上に感じました。

## 株式会社 ファミリーマート

流通

4カ国・11名の学生が訪問しました。海外出店にも携わったCSR担当の方から、会社紹介、商品開発、海外展開、企業CSR活動などについてお話いただきました。商品開発では、商品が店頭に並ぶまでの企画・開発、流通の仕組みや、販売戦略などについての解説がありました。また、海外出店までの様子についてテレビ放送された内容をもとに、海外展開に必要なスキルなどを説明していただきました。

- コンビニは場所(土地)があればいいだけだと思っていましたが、道路からの見え方など、考えることが沢山あってビックリしました。(ベトナム / 大学生)
- コミュニケーション能力は、必要な力だとは知っていましたが、具体的な用例を教えてください、改めて重要性を知ることができました。(ベトナム / 専門学校生)



「参加者が消極的ではないだろうか?」「日本語能力は大丈夫だろうか?」と心配な面もありましたが、実際は皆さんとても真面目で、積極的に参加してくれたことに良い印象を持ちました。

## 株式会社 ワイズ・インフィニティ



ご参加いただいた学生の皆様が、とても熱心に聴いてくださり、とても有り難いと思いました。

6カ国・10名の学生が訪問しました。経営管理部の方から会社紹介があり、顧客サービス部、制作部で働く社員の方にもお話を伺いました。また仕事体験として字幕翻訳をつけるワークを行い、映像翻訳の特徴や、難しさ、面白さを体験しました。その後、「仕事をする上で大切なこと」というテーマで先輩社員からお話いただき、最後に、職場訪問の感想やこれからの目標をお互いに発表し合う時間をもちました。

- 仕事の大切さ、自分が仕事で大切にすること、何をすればいいか考えて行動する、というお話がよかったです。（コンゴ民主共和国 / 高校生）
- 日本語 → 日本語というクローズドキャプションという仕事もあるのだなと思い、大変興味深かったです。（ミャンマー / 大学生）

### 3日目

## プレゼンテーション・スキルを学ぶ / 丸の内散策ツアー



## 株式会社 セールスフォース・ドットコム

「プレゼンテーション・スキルを学ぶ」では、「職場訪問」で学んだことを、社員ボランティアと一緒にプレゼンテーション資料にまとめ、発表しました。寸劇あり、活動中の写真や、動画素材を活用するなど、グループごとに特色のある発表となりました。限られた時間の中で、いかにグループ内の意見をまとめ、聞き手に分かりやすく発信することができるか、その大変さ、やりがいを経験する機会となりました。

- ✿ 参加者：高校・短大・専門・大学・大学院 9ヶ国38名
- ✿ 共 催：株式会社セールスフォース・ドットコム（東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー12階）

- 緊張しましたが、これからたくさん使うので、役立ちました。話すのがあまり得意な方ではないけど、色んな人と喋れたので良かったです。（ブラジル / 高校）
- 自分が知っている前提で説明するのではなく、知らないだろうということも視野に入れて説明を行うことの大切さを知りました。（ペルー / 大学）
- グループのみんなが心を一つにして、短い時間で沢山の会社を知ることができました。（ミャンマー / 高校）

## 特定の業界や職種に偏らない「働き方」とは

企業の皆さまのご協力により、「職場訪問」を実施することができました。関係者の皆さまには、心より御礼申し上げます。実施にあたり、学生に事前アンケートを行いました。その際、高校生の過半数が「観光」・「通訳 / 翻訳」業界を希望し、「IT」業界に関心があるのは主に男子大学・大学院生だったなど、興味深い結果が見られました。高校生については、自分が「外国」にルーツがあることや、親に代わって学校や行政窓口などで通訳をする機会が多いため、「仕事」のイメージがつきやすい業界を希望したのでは、と考えています。実際に訪問し、「翻訳会社で働く人が、みんな翻訳する訳ではないんだ」、「旅行会社が扱っているのは、『旅行』だけじゃないんだ」など、「知っている」つもりだった「仕事」について、沢山の気付きを得る貴重な機会となったようです。今回の「職場訪問」企画のように、学生のうちから、社会と接触する機会を設けることは、「自分の中での『働く意味』」や、「将来、どうなっていたいか」などを、深く考える機会となりますので、今後ぜひ、継続していきたいと思えます。

# 学 習 支 援 室 だ よ り

## 夏休みも勉強がんばりました!!

この夏も、一般財団法人柳井正財団、明治学院大学「内なる国際化プロジェクト」のご協力により、夏休み期間中、20日間にわたる「夏休み集中学習支援教室」を開催することができました。難民等日本に定住する、小学6年生から中学3年生20名余りが、朝10時から夕方4時45分まで（小学生は午後3時まで）、明治学院大学白金キャンパスの教室で学年ごとに分かれ、ひたすら勉強に励みました。ミャンマー、ベトナム、コンゴ、エチオピア、アフガニスタン等につながる小中学生達です。長期休暇を利用した集中学習支援教室は今回が3回目。今年の教室には、東京都在住の小中学生だけでなく、神奈川、千葉、埼玉からの参加も見られました。中には、片道1時間半以上、電車とバスを乗り継いで通学となった小中学生もいましたが、最後まで勉強に通いました。その「達成感」がこれからの大きな力につながることでしょう。

今回の学習支援室では、通常の学習支援室では力を入れられない「作文」に力を入れました。時間をかけて、自分が考えている事、伝えたい事

を、少しずつ整理しながら、文章にしていきました。その中の一つ、小学校6年生しちゃんの作文をご紹介します。

指導にあたってくださった講師の皆様のお力添えに加え、お忙しい時間の合間をぬって、何度も教室に足を運んでくださった、柳井正財団の方々、明治学院大学「内なる国際化プロジェクト」の先生方、毎日傍らで見守ってくださった大学生の皆さんのやさしいお気持ちに包まれて、子どもたちは、成長を続けています。



### 「気になる未来の自分」 小学校6年生 L

私は、ある日未来の自分は何をしているのだろうと気になっていた。その日からいつもいつも気になって、なかなかおぼれなかった。あたまがいっぱいでおし入れの中でボーっとしていた。するとどこかから声が聞こえた。「未来に行ってみない?」私は気のせいだと思っていた。しかし、気がついたら、なんと2037年の、日本にいた。

目の前は、すごく変わった国会議事堂だ。そこから総理大臣が出てきた。よく見ると、「〇〇」と書いてある。現在私と同じ小学校の同級生だ。私は、もし現在住んでいる家に帰ったら、その子にその子の未来について教えてあげようと思った。

しばらく歩いていたが、歩いていてもどうしようもないと思い、未来の、現在住んでいるアパートに行ってみた。すると目の前に、救急車があった。何かと思い、近づいてみると、ネームプレートに「L」と書いてある医者があった。まさに私だ。しょう来、医者になってみたかった私は、とてもうれしかった。

未来の自分をしばらくながめて気づいた。未来の私はとてもひっしなようすだったのだ。おかしいと思い、もう少し近づいてみると、おじいさんが、はいえんのじょうたいで、たおれていた。未来の私は、人工こきゅうきをつけてあげていた。すると、おばあさんが、ありがとうという表じょうをうかべて、にっこり笑っていた。

未来の自分の病院に行ってみた。未来の自分は、いろいろな人から、笑顔をもらっているような感じがした。そして、病院を出た。

するととつぜん私は、たおれていて、気がついたら、おし入れの中だった。少しおどろいたが、私は、今まであったことを、みんなに話した。みんなびっくりした顔で聞いていた。

私は、今まであったことをもふくめ、しょう来のために、これからもいっしょうけんめい勉強をがんばろうと思った。

## AAR Japan [難民を助ける会]

### 東日本大震災

## 復興支援のためのチャリティコンサート

AAR Japan [難民を助ける会] が、日本ロレックス㈱のご支援によりお贈りする恒例のチャリティコンサート (共催：さぼうと21)。今回は、トランペット奏者のエリック・オービエ氏と、パイプオルガン奏者のティエリー・エスケッシュ氏をパリよりお招きします。

お二人はこれまでもご出演くださっており、いずれもご好評いただきました。被災地に思いを馳せながら、お二人の演奏をどうぞご鑑賞ください。詳細はコンサートのチラシをご覧ください。

今回は、コンサート前にアーティストから演奏指導を受けることができる「特別クリニック」の時間を設けています。コンサート前のひと時、特別な時間をアーティストと過ごしませんか。

#### 特別クリニック

- 日 時：2017年12月14日 (木) 午後2時～5時  
※コンサート開演は午後7時
- 会 場：東京オペラシティ コンサートホール  
(東京都新宿区西新宿3-20-2)
- アーティスト：エリック・オービエ、ティエリー・エスケッシュ
- 受講料：特別クリニックの受講は5,000円 (税込)、聴講は無料

コンサートの純益は、東日本大震災被災者支援に役立てます。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

## ミャンマーの麺料理「モヒンガー」大好評!

さぼうと秋の行事といえば「グローバルフェスタ」。9/30(土)、10/1(日)にお台場で行われ、出展は今年で4回目となりました。展示ブースではさぼうとの活動紹介、飲食ブースではミャンマーでおなじみの麺料理「モヒンガー」を販売しました。「毎年、モヒンガーを楽しみに来るのよ!」とさぼうと21のブースを訪れてくださる常連のお客さんもできました。

本場のモヒンガーは、ナマズで出汁を取るそうですが、日本のナマズでは淡白な味になってしまうため、他の魚を使って味を再現することもあるそうです。ご家庭ごとに出汁も味も異なります。2日間で400杯余を売り切り、今年も笑顔で終えることができました。

さぼうと21のブースに遊びに来てくださった皆さま、ありがとうございました!



Nさん家のモヒンガー、黒鯛のお出汁



## Newsletter

Support21 Social Welfare Foundation

Vol.64 2017.12

社会福祉法人 さぼうと21

理事長 吹浦 忠正

### 社会福祉法人さぼうと21は…

日本国内で生活するうえで困難をきたしている難民やその家族、定住外国人および元外国籍の人々の相談に乗り、また自立支援活動を行う社会福祉法人です。

認定NPO法人難民を助ける会 (AAR JAPAN) を母体に、その国内事業を受け継ぎ、厚生省 (当時) 認可の社会福祉法人として1992年に設立されました。

「困った時はお互い様」をモットーに、日本国内で政治、宗教に中立な立場で活動しています。

学業継続のための経済支援を中心に、生活困窮者に対する幅広い生活支援を実施しております。

### 私たちの活動を応援して下さる方を求めています!

- 会 員：法人会費50,000円/個人会費5,000円
- ご寄付：随時受付
- マンスリーサポーター：随時受付

会費・ご寄付とも税法上の優遇措置が受けられます

#### ◆会費・寄付のご送金口座◆

ゆうちょ銀行	振替口座：00180-7-25470 加入者名：社会福祉法人 さぼうと21 ※通信欄に会費または寄付とご明記ください
三井住友銀行	目黒支店 (普) 851872 名義：社会福祉法人 さぼうとにじゅういち
みずほ銀行	目黒支店 (普) 1180279 名義：社会福祉法人 さぼうとにじゅういち ※銀行振込み後は事務局までご一報ください

### お問い合わせ

## 社会福祉法人 さぼうと21

#### 住所：

〒141-0021  
東京都品川区上大崎2-12-2 ミズホビル6階

TEL：03-5449-1331 FAX：03-5449-1332

E-mail：info@support21.or.jp URL：http://www.support21.or.jp

